

# 平成23年度 火葬研認定講習

日本の火葬場は、故人との最後のお別れとなる告別行為、遺体が火葬炉に入るのを見送る見送り行為、火葬後の焼骨を拾い骨壺に収める拾骨行為を通して、故人の死を受容する場になっております。したがって火葬場での葬送行為が建築計画や運営に大きな影響を与えています。

火葬研では火葬及び火葬場あり方に基づき、火葬場の計画から設計及び火葬業務の実施をするに必要な基本的な知識の習得を目指し、過去の研究成果をもとに講習会を開催します。

能力開発支援制度の一環として、本会に蓄積される最新の学術的知見を能力開発プログラム(認定講習)として提供し、併せてその履修の記録やキャリア等の登録を通じ、会員(登録者)の生涯にわたる能力開発とキャリア形成を支援します。

コースは次の3種類です。

## ■火葬場計画コーディネーター

火葬場の立地場所の選定から計画及び運営方法までの企画・計画に関する知識の習得者

## ■火葬場設計コーディネーター

具体的な火葬場の設計に関する知識の習得者

## ■火葬業務コーディネーター

火葬業務に従事する人が火葬を行うのに必要な知識と心構えの習得者

認定に必要な講義の受講と施設見学会に参加し6単位を得た人に対して、部門ごとの知識習得者として認定を行う。(猶予期間2年)講師については予定。

その他に、協会主催の施設見学会に1回以上参加してください。

部門名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	施設見学	必要単位
計画部門：火葬場計画コーディネーター	○	○	○	○	○				○	6単位
設計部門：火葬場設計コーディネーター	○	○	○		○	○			○	6単位
運営部門：火葬業務コーディネーター	○	○	○				○	○	○	6単位

### ①火葬のはじまりと普及について

日本火葬のとはどういうものか、火葬のはじまりからどのように普及していったかなど

- ・火葬のはじまり
- ・火葬の普及
- ・野焼き施設
- ・都道府県別の状況

### ②法律の流れと関連法規について

火葬に関する法律ができた社会的背景とその流れ、火葬と火葬場の定義など

- ・火葬と火葬場の定義
- ・火葬に関する取締りのはじまり
- ・墓地埋葬等に関する法律
- ・都市計画法と計画標準(案)

### ③火葬場の機能と運営について

火葬場で提供されるサービスの内容と設置・運営形態、運営の状況など

- ・火葬場の設置形態と機能
- ・火葬場の運営とPFI
- ・火葬料金と火葬費用
- ・提供されるサービスの基準

### ④火葬場の計画について

火葬場を計画するのに必要な業務、必要となる調査や規模計画の方法など

- ・計画の流れ
- ・建設に関する費用
- ・規模計画
- ・必要となる調査

### ⑤火葬場の立地について

火葬場がどのような場所に立地してきたかや、ふさわしい立地場所の考えなど

- ・敷地の構成
- ・周辺環境と住民対策
- ・ふさわしい立地
- ・火葬場の立地事例

## ⑥火葬場の設計手法について

火葬場を設計するに当たり、告別・見送り・拾骨場所の考え方やデザインについて

- ・告別・見送り・拾骨の考え方
- ・火葬場のデザイン
- ・周辺環境との調和
- ・設計者の考え

## ⑦火葬の仕組みについて

火葬の目的と火葬炉の仕組みと、火葬炉設備の考え方について

- ・火葬の目的と火葬炉設備の構成
- ・火葬と廃棄物焼却の違い
- ・竈から炉へ火葬炉の変遷
- ・火葬に関する設備の考え方

## ⑧火葬場での業務について

火葬場での業務内容や会葬者への配慮など火葬業務実施の場合の心構えについて

- ・火葬場での業務
- ・火葬場の運営タイプ
- ・観察調査からみた会葬者の動き
- ・会葬者への配慮

## ■認定までの流れ

① 認定講習受講者登録	受講者	氏名、住所、生年月日の登録
↓		
② 登録証の発行	火葬研	登録証の発行
↓		
③ 受講申し込み	受講者	希望する講義を申し込む
↓		
④ 認定講習講義の受講	受講者	希望する講義の受講
↓		
⑤ 必要講義の受講終了	受講者	必要講義の受講終了の申し出
↓		
⑥ 認定証の発行	火葬研	受講終了の確認と認定証の発行

## ■認定講習会開催日（平成23年度）

平成23年度の認定講習会は2回に分け、下記日程で開催いたします。認定講習の受講者登録を行ってから講習の申込を行ってください。

施設見学会の詳細につきましては事務局に確認願います。講師については予定。

開催日 平成23年10月26日（水）友引

会場：ちよだプラットフォームスクウェア 会議室501

9:20～10:50	火葬の始まりと普及について	講師：八木澤壯一	東京電機大学名誉教授 工博
11:00～12:30	火葬場の機能と運営について	講師：今村 至孝	聖学院大学大学院
13:20～14:50	法律の流れと関連法規について	講師：武田 至	火葬研 博士（工学）
15:00～16:30	火葬場の立地について	講師：浅香 勝輔	元日本大学教授 博士（工学）

開催日 平成23年11月18日（金）友引

会場：ちよだプラットフォームスクウェア 会議室501

9:20～10:50	火葬場の計画について	講師：山田 真人	梓設計
11:00～12:30	火葬場の設計手法について	講師：木谷 靖孫	日建設計
13:20～14:50	火葬の仕組みについて	講師：武田 至	火葬研 博士（工学）
15:00～16:30	火葬場での実施業務について	講師：古澤 雄一	五輪

## ■受講費

会員・自治体職員 1 講義 12,000円

会員外 1 講義 17,000円

1日で2講義を続けて受講する場合は各講義とも2,000円引きとします。

## ■定員

各講義 30名を予定

## ■使用テキスト

「火葬場の立地」火葬研究協会立地部会編 発行所：日本経済評論社

「建築設計資料109 葬斎場・納骨堂2」発行所：建築資料研究社

「吊ふ建築—終の空間としての火葬場」発行所：鹿島出版会

その他 必要に応じてプリントを配布する

## ■平成23年度認定講習受講登録申込締め切り

平成23年10月21日（金）

## ■会場

ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区神田錦町3-21）

使用会場等、詳細は事務局に確認してください。

## 周辺案内図

<地下鉄>

- 竹橋駅下車徒歩5分  
（東西線・3b・KKRホテル東京玄関前出口）
- 神保町駅下車徒歩10分  
（三田線・新宿線・半蔵門線A8出口）

<JR>

- 神田駅下車徒歩15分  
（西口出口・出世不動通り）

※ 施設の概要は下記アドレスで確認してください。

<http://yamori.jp>



## ■施設見学会

23年度は下記施設を予定しております。詳細は事務局に確認してください。

見学日 平成24年2月22日（水）友引

見学先 厚木市斎場（神奈川県厚木市）を予定

## ■問合せ・申し込み先

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5-9 神田カトランビル402

一般社団法人 火葬研 事務局 武田

TEL 03-3518-2821 FAX 03-3518-2820

E-mail: [takeda-kasouken@nifty.com](mailto:takeda-kasouken@nifty.com)

# 一般社団法人火葬研 認定講習 受講者登録票

※印欄は、記入しないでください

※ 登録番号					写 真
氏 名					<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">                     写真貼付                      たて30mm                      よこ24mm                 </div>
住 所	〒				
生 年 月 日	年	月	日		
所 属					
連 絡 先	TEL	( )	1 自宅	2 勤務先	
講 義 名	①火葬のはじまりと普及について	②法律の流れと関連法規について	③火葬場の機能と運営について	④火葬場の計画について	⑤火葬場の立地について
受 講 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
講 義 名	⑥火葬場の設計手法について	⑦火葬の仕組みについて	⑧火葬場での業務について	施設見学	施設見学
受 講 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
認 定 部 門	1 計画部門 ( 年 月 日認定)		2 設計部門 ( 年 月 日認定)		3 運営部門 ( 年 月 日認定)

備考 1 この登録票は、必ず本人が記入してください。  
2 写真は、無帽、無背景、正面上三分身像とし、三箇月以内に撮影したものを貼付してください。

# 一般社団法人火葬研 認定講習 受講票

※印欄は、記入しないでください

※ 登録番号					
氏 名					
住 所	〒				
所 属					
※受講確認欄	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	①	②	③	④	⑤
	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	⑥	⑦	⑧	施設見学	施設見学
認定部門	1 計画部門 ( 年 月 日認定)		2 設計部門 ( 年 月 日認定)		3 運営部門 ( 年 月 日認定)

備考 1 この受講票は、必ず本人が記入してください。  
2 受講当日は、この受講票と筆記用具を持参してください。